


JAバンク福島における 地域密着型金融の取組状況 (平成24年度)

平成25年11月
農林中央金庫福島支店



JAバンク(県下17JA, 農林中央金庫福島支店)では, 農業と地域社会に貢献するため, 平成22~24年度JAバンク福島中期戦略に基づき, 地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成24年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので, ご報告いたします。

目次

- I 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援（JAバンク福島の農業メインバンク機能強化への取組み）
… P. 4
- II 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援
… P. 11
- III 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供
… P. 14
- IV 地域社会への貢献活動
… P. 17

I 農山漁村等地域の活性化のための 融資を始めとする支援 (JAバンク福島の農業メインバンク機能強化への取組み)

農業融資商品の適切な提供・開発

- JAバンク福島は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成25年3月末時点のJAバンク福島の農業関係資金^(注)残高は、34,436百万円となっています。

(注)農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

【資金種類別農業資金残高】

(単位:百万円)

種 類	平成25年3月末
プロパー農業資金 ^(注1)	27,787
農業制度資金 ^(注2)	6,649
農業近代化資金	760
その他制度資金 ^(注3)	5,889
合 計	34,436

(注)

1. プロパー農業資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。また、プロパー農業資金の残高のうち14,980百万円は、「日銀の被災地金融機関支援オペ」を活用した貸出金。
 2. 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。
 3. その他制度資金には、日本政策金融公庫の転貸資金、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)、農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

(単位:百万円)

種 類	平成25年3月末
日本政策金融公庫資金	2,013
その他	0
合 計	2,013

(注)

JAバンク福島では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の事務受託を受けております。

【営農類型別農業資金残高】

(単位:百万円)

営農類型	平成25年3月末
農業 ^(注1)	18,752
穀作	3,643
野菜・園芸	1,526
果樹・樹園農業	1,570
工芸作物	88
養豚・肉牛・酪農	1,003
養鶏・鶏卵	9
養蚕	1
その他農業 ^(注2)	10,912
農業関連団体等 ^(注3)	15,684
合 計	34,436

(注)

1. 「農業」の内訳は、百万円未満切捨表示となっております。

2. 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

3. 「農業関連団体等」には、JA、専門農協が含まれています。また、「農業関連団体等」向けの資金残高のうち14,980百万円は、「日銀の被災地金融機関支援オペ」を活用した貸出金。

担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAバンク福島では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者と連携し、農業融資に関する訪問相談・資金提案活動を実施しています。また、県内17JAと金庫支店に計40人の「担い手金融リーダー」を設置し、活動のサポートをしています。
- 農林中央金庫福島支店では、JAにおける農業融資機能の強化に向けた取組みのサポート（農業者からの相談のバックアップ、JAとの協調融資など）と、県内農業法人との新規取引を目的に、農業金融センター機能を担う「農業金融班」を平成21年10月1日に設置しています。

JA内事業間連携の強化

- 農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、金融部署と営農・経済部署等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

取組内容

JAの事業基盤である農業者への定期訪問活動において、金融部署と営農・経済部署が連携し、同行訪問や合同の情報連絡会議を開催。農業者の幅広いニーズ・意見に対応することにより、利用者満足度向上に取組んでいます。

JAの農機販売部署や営農・経済担当者を対象に、農業資金に関する知識と借入手続等の研修会を開催し、スムーズな資金の提供に取組んでいます。

県域事業間連携の推進

- JAバンク福島では、全農福島が主催するアグリフェア（農機具展示会）等に協賛し、担い手支援コーナーにおいて、来場者に対する農機具等購入に要する資金および災害資金のPR・相談活動を実施し、JAバンクの知名度アップと農業資金等の円滑な対応をPRしています。

【イベント開催状況】

イベント名	開催日	主催者	場所	総来場者数	内容
アグリフェア 2012inふくしま	7月11～ 13日	全農 福島	ビックパレットふ くしま (郡山市南)	3,300名程度	農機具等購入に要する資 金および災害資金のPR・ 相談活動
営農支援フェア 2012inふくしま	11月14日 11月15日	全農 福島	JA全農福島農 業機械センター (郡山市金谷)	1,300名程度	農機具等購入に要する資 金および災害資金のPR・ 相談活動

Ⅱ 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

新規就農者の支援

- JAバンク福島では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、新規就農支援資金(施設資金転貸)を取り扱っています。
- JAによっては、市町村と連携しワンフロアー化による新規就農相談窓口の設置を行っています。

＜新規就農者をサポートする資金の取扱い実績＞

(単位 件, 百万円)

資金名	平成24年度 実行件数	平成24年度 実行金額	平成25年3月末 残高
就農支援資金(転貸)	4	16	91

経営不振農家の経営改善支援

- JAバンク福島では、農業負債整理資金の対応等にあたり、特別融資制度推進会議の一員として、農業者の経営再建に向けて関係機関と協調し円滑な資金融通を行っています。

【平成24年度の農業者の経営改善支援取組実績】

経営改善 支援取組先 a	aのうち再生計画策 定先 b	aのうち経営改善が図 られた先 c	事業計画 策定率 b/a	経営改善率 c/a
47	13	4	27.7%	8.5%

(注) 経営改善支援取組先は、JAが再生計画の策定など、経営改善支援に取組んだ先として指定したものをいいます。

Ⅲ 経営の将来性を見極める融資手法を 始め、担い手に適した資金供給手法の 提供

負債整理資金の提供による償還負担の軽減

- JAバンク福島では、農業者の経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。平成24年度末の実績は以下のとおりです。

【平成24年度 負債整理資金貸出実績】

(単位:件,百万円)

資金名	平成24年度 実行件数・金額	25年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金(注1)	0	81
畜産特別資金(注2)	0	81
その他(注3)	0	177
合計	0	339

(注)

- 1.農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- 2.畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- 3.その他は、制度資金、特別対策資金、農家更生貸付金を除くプロパー資金(要綱資金、独自資金)が該当します。

震災・原発事故の被災農家への金融支援

- JAバンク福島では、震災・原発事故の被災農家への金融支援として、福島県と協調し県が創設した農家経営安定資金についてJAグループ全体で利子補給することにより、無利子の資金を創設しました。

【平成24年度 災害資金対応実績】

(単位:件,百万円)

資金名		実行件数	実行金額
農家 経営 安定 資金	原発事故対策緊急支援資金	750	2,326
	東北地方太平洋沖地震対策資金	89	327
	農家経済維持支援資金	66	110
	肉用牛経営緊急支援資金	47	463
JAプロパー災害資金		851	1,689
合計		1,803	4,915

IV 地域社会への貢献活動

地域住民の農業に対する理解促進

- JAバンク福島は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入等に取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の5年生在校の492校へ、**22,356セット**、特別支援学級向け30校へ619セットが配布され、学校の授業等において活用されています。



写真: 小学校への教材本贈呈式の様子。(JA伊達みらい)

- また県下JAでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	主な活動内容
JA新ふくしま	県北あぶくま農業応援隊	小学生農業体験, 食体験, 親子料理教室
JA伊達みらい	学校教育支援	親子スイーツ教室, 学校農園への苗等の提供
JAみちのく安達	JAちびっこ農業大学	小学生農業体験
JA郡山市	バケツ稲づくり等	小学生バケツ稲づくり・田んぼの生き物調査
JAあぶくま石川	バケツ稲づくり等	小学生バケツ稲づくり, 田んぼの生き物調査
JAしらかわ	食農教育と農業体験	小学生食農教育, 田んぼの多面的機能の学習
JA東西しらかわ	高校合格祈願米贈呈	合格祈願米の贈呈を通じ稲作への理解を深める
JAあいづ	農業体験学習等	田植え作業ほか
JA会津いいで	学校給食支援活動	学校給食食材(地元産米)提供, 米作りへの理解を深める

JA名	活動名	主な活動内容
JA会津みどり	学校給食支援活動	給食食材(和牛)提供, 畜産への理解を深める
JA会津みなみ	農業体験学習等	フナ米栽培体験, JA産直流通
JAいわき市	農業体験学習等	小学生農業体験, 田んぼの生き物調査
JAいわき中部	農業体験学習等	田植えから収穫までの農業体験
JAそうま	農業体験学習等	小学生バケツ稲づくり, 親子料理教室, 学校給食食材提供, 食農講演会



写真左:小学生によるバケツ稲作り体験の様子。(JAそうま)



写真右:小学生による地場食材を使った料理教室の様子。(JA伊達みらい)

環境保全活動への取組み

- JAバンク福島は、社会貢献活動の一環として、JAが地域の皆様からお預かりした定期貯金（愛称：エコスマイル定期貯金）のJAにおける運用益の一部と、JAバンクアグリ・エコサポート基金からの寄付金贈呈により環境保全活動にも取り組んでいます。

【エコ定期貯金取扱いによる環境保全活動】

事業名	実施主体	贈呈先	贈呈金額
JAエコ定期貯金	県内17JA	・国立大学福島大学 ・ふくしまエコチャレンジ事業	1,880,720円
JAバンクアグリ・エコサポート事業	JAバンクアグリ・エコサポート基金		1,880,720円